

都市再生整備計画 事後評価シート
葛巻地区

平成28年3月

新潟県見附市

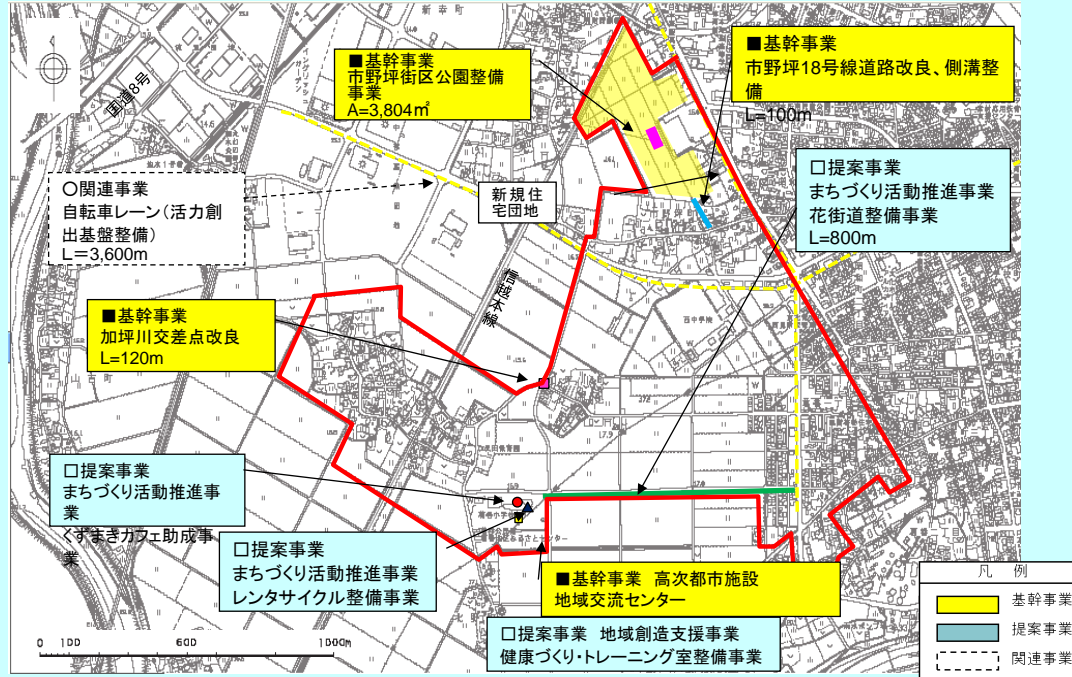
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	見附市	地区名	葛巻地区都市再生整備計画			面積	150ha				
交付期間	平成23～26年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	444.7百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市野坪18号線、加坪川交差点)、高次都市施設(地域交流センター)										
		提案事業	地域創造支援事業(健康づくり・トレーニング室整備事業)、まちづくり活動推進事業(花街道整備事業、レンタサイクル整備事業、くずまきカフェ助成事業)										
	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業											
		提案事業											
新たに追加した事業	基幹事業	道路(加坪川交差点)	地域交流センターへの円滑な交通の確保のため追加			影響なし							
	提案事業	公園(市野坪街区公園)	地域交流を促進する場を整備するため追加			指標3「市民アンケートの満足度」において抽出する項目に「公園や緑地、広場などの整備状況」を追加							
交付期間の変更	当初	平成23～26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	地域交流センターの利用者数	人/年	6,539	H21	7,000	H26	-	18,824	○	あり なし	事業により、センターへのアクセス性向上、センターに行きたくなる環境の形成、コミュニティ活動の機会の増加が図られ、施設利用者数の増加に大きな効果があった。	
	指標2	地域コミュニティ活動参加者数(コミュニティ役員・委員)	人/年	1,334	H21	2,000	H26	-	2,009	○	あり なし	事業により、地域コミュニティ活動の環境の向上及び機会の増加が図られ、参加者数の増加に一定の効果があった。	
指標3	市民アンケートの満足度	%	63.39	H22	64.39	H26	-	61.56	△	あり なし	● 目標に関連する5項目の平均値は下がったものの、「地域コミュニティなどの地域交流」や「公園や緑地、広場などの整備状況」の項目は、満足度が上がっているため、事業により地域の活性化や住みよい地域の形成に一定の効果があった。	H29.6月末	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	地域コミュニティ活動参加者数(地域住民等)	人/年	3,145	H21	/	/	-	5,932	/	/	事業により地域コミュニティ活動の拠点の整備、センターへのアクセス性向上、センターに行きたくなる環境の形成、コミュニティ活動の機会の増加が図られ、地域コミュニティ活動が活性化し、参加者数の増加に寄与した。	
その他の数値指標2	市民アンケートの不満足度	%	33.22	H22	/	/	-	29.78	/	/	事業により、目標に関連する5項目のうち公園などの整備状況、生涯学習環境や地域交流に対する不満足度が下がった。このため、5項目の平均値の不満足度が下がり、地域の活性化や住みよさに対する消極的評価が少なくなった。		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサークルや高齢者の生きがい活動に関するサークルが新たに立ち上がり、日々の活動を通じて地域のソーシャルキャピタルの向上が見込まれる。 葛巻地区以外の市内や市外のサークル・団体の施設利用が新たに発生し、さらに近年は増加しており、葛巻地区の地域外へのPR効果を発揮。(※平成26年6月2日、天皇后様行幸啓の昼食会場としても利用があり、マスコミなどにより広く葛巻地区のPRにつながった。) 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの開催 地域情報誌による情報発信・参加募集 ボランティア活動との共催 			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。				
持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 葛巻地区まちづくり協議会 葛巻小学校、西中学校 親子サークルのびのび 			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。					

様式2-2 地区の概要

葛巻地区(新潟県見附市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 交流の促進と地域コミュニティの活性化による活気ある住み良い地域の形成	地域交流センターの利用者数	単位: 人/年 6,539 H21	7,000 H26	18,824 H26
目標1: 地域交流センターの整備により地域活動の拠点を形成し、交流の促進を図る。	地域コミュニティ活動参加者数(コミュニティ役員・委員)	単位: 人/年 1,334 H21	2,000 H26	2,009 H26
目標2: 交流の促進を通して地域への愛着を深め、地域コミュニティ活動の活性化を図る。	市民アンケートの満足度	単位: 人/年 63.39 H22	64.39 H26	61.56 H26
目標3: 地域コミュニティ活動の活性化を通して、地域全体を活性化させ、豊かな自然や地域資源を活かした住み良い地域の形成を図る。				



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 地域の結びつきの弱体化による地域コミュニティの衰退 地域コミュニティの拠点が形成されると共に、地域交流センターにアクセスしやすい環境、行きたくなる環境が整備されたことで地域交流センターの利用が促進された。これに加え、コミュニティ活動の機会増加や交流の場の増加を通じて交流が促進され、地域コミュニティが活性化した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流センターへの誘導: 誰もが、どのような手段でも訪れやすい、訪れたい仕組みをつくる。 コミュニティ活動に参加する役員・委員参加者数の維持: 地域住民のニーズや地域課題を的確に把握し、それを事業化する仕組みづくりを進め、役員・委員が積極的にコミュニティ活動を推進していく。 公園、花街道の適切な維持管理: 地域ぐるみの維持管理に対して支援を行い、地域への愛着を醸成する。 更なる交流の促進: 小学校と隣接している、運動設備がある等、施設の特徴を活かした事業・講座等を実施する。 地域と行政の協働の推進: 市の提案する協働事業の積極的な共催により、全市的な課題解決に向けた広い視野での事業展開を進める。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		指標3「市民アンケートの満足度」において抽出する項目を「生涯学習環境の充実」「文化施設の整備状況や事業の展開」「市民と行政の協働によるまちづくりの推進」「隣近所とのつきあいなどの地域交流」の4つとする	抽出する項目に「公園や緑地、広場などの整備状況」を追加	公園整備によりどれだけ住みよい地域が形成されたかを計測するため
C. 目標値	●		指標3「市民アンケートの満足度」について、従前値65.25%、目標値67.25%に設定	従前値63.39%、目標値64.39%に変更	「市民アンケートの満足度」の抽出する項目に「公園や緑地、広場などの整備状況」の項目を追加したことにより、満足度の平均値が変化したため
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市野坪18号線	15.2	舗装新設、側溝新設 L=100m	13.6	舗装新設、側溝新設 L=100m	入札差金による事業費の減少	影響なし	●	
	加坪川交差点	-	なし	30.3	交差点改良 L=120m	地域交流センターへの円滑な交通の確保のため追加	影響なし	●	
公園	市野坪街区公園	-	なし	4.7	公園整備 A=3804㎡	地域交流を促進する場を整備するため追加	指標3「市民アンケートの満足度」の従前値及び目標値に影響する。市民アンケートの項目に、「公園や緑地、広場などの整備状況」があり、目標に関連する項目としてこれを追加し、5項目の平均値により満足度を算定する。	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設	地域交流センター	350.7	地域交流センター整備 A=約1400㎡	338.8	地域交流センター整備 A=1358㎡	施設内の基幹事業該当部分・提案事業該当部分・共用部分の按分比率見直し及び精算による事業費の減額	影響なし	●	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	健康づくり・トレーニング室整備事業	49.3	健康づくり・トレーニング室整備 A=約120㎡	53.3	健康づくり・トレーニング室整備 A=約136.5㎡	施設内の基幹事業該当部分・提案事業該当部分・共用部分の按分比率見直し及び精算による事業費の増額	影響なし	●	
事業活用調査	花街道整備事業	0.5	地域コミュニティ活動補助金	0.5	地域コミュニティ活動補助金	なし	影響なし	●	
まちづくり活動推進事業	レンタサイクル事業	1.5	地域コミュニティ活動補助金	1.5	地域コミュニティ活動補助金	事業計画の見直しにより、平成24年度～25年度実施予定だったものを、25年度～26年度実施に変更(総事業費は不変)	影響なし	●	
	くずまきカフェ助成事業	2.0	地域コミュニティ活動補助金	2.0	地域コミュニティ活動補助金	事業計画の見直しにより、平成24年度事業費を減額し、平成25年度以降の事業費を増額(総事業費は不変)	影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
自転車レーン(活力創出基盤整備)		十二ノ木線、大河津線	20.0	9.1	平成23年～平成28年	-	事業中	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		基準年度	目標年度					あり	なし		
指標1	地域交流センターの利用者数	人/年	地域交流センター(葛巻地区ふるさとセンター)が整理している、平成26年度施設年間利用者数の実績値を評価値とする。	15,882	H16	6,539	H21	7,000	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	18,824	事後評価	○		
指標2	地域コミュニティ活動参加者数(コミュニティ役員・委員)	人/年	コミュニティ組織が把握している、平成26年度実施の各種コミュニティ活動に参加したコミュニティ役員・委員の人数の合計値を評価値とする。	1,037	H19	1,334	H21	2,000	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	2,009	事後評価	○		
指標3	市民アンケートの満足度	%	平成26年度に市が実施したまちづくり市民アンケートの内、アンケートの対象地域として葛巻地区に分類される回答を抽出し、その中で目標に関連する5項目の「満足」「やや満足」と回答した割合の平均値。目標に関連する項目は「生涯学習環境の充実」「文化施設の整備状況や事業の展開」「市民と行政の協働によるまちづくりの推進」「地域コミュニティなどの地域交流」「公園や緑地、広場などの整備状況」とする。	51.56	H16	63.39	H22	64.39	H26	モニタリング			モニタリング			● (隔年実施のアンケートのため、2年以内の達成見込み)
										事後評価	確定 ●	61.56	事後評価	△		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	○: 地域活動の拠点が形成されると共に施設利用を促す環境が整備され、施設利用者数の増加に大きな効果があったため。	
指標2	○: 地域コミュニティ活動の環境の向上及び機会が増えたことにより、参加する役員・委員の増加に一定の効果があった。	目標値の2,000人は、総数約100名である役員・委員が1人当たり年間約20回の活動をすれば達成となるため、ハードルがやや高かったものの目標を達成できた。本計画がきっかけで開始した地域コミュニティ活動が定着しひと段落したことから、今後は目標値の2,000人を概ね維持することを課題とした。
指標3	△: 目標に関連する5項目のうち「地域コミュニティなどの地域交流」や「公園や緑地、広場などの整備状況」で満足度が上がっており、各事業の実施が一定の効果を現わした。「生涯学習環境の充実」、「文化施設の整備状況や事業の展開」、「市民と行政の協働によるまちづくりの推進」の3項目の満足度が下がったことが響き、5項目の平均値が下がったため、目標値を達成できなかったものの、近年の傾向を上回った。	従前値(H22)が近年の傾向(H16、H18、H20のアンケート結果)からすると特異的に高かったと考えられる。評価値はH16、H18、H20のアンケート結果を約8.5%~11.7%上回っていることから、近年の傾向より改善しているといえる。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
				基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標 1	地域コミュニティ活動参加者数(地域住民等)	人/年	-	-	3,145	H21	モニタリング			指標2では、地域コミュニティ活動参加者数としてコミュニティ役員・委員の参加者数を計測の対象としていたが、これに加えコミュニティ活動に参加した地域住民等の人数も計測したところ増加していたことから、交流促進及びコミュニティ活性化が図られたこと(目標)を表す指標としてふさわしいと考えられる。	指標2を補完して、地域コミュニティ活動の活性化を説明する
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の 数値指標 2	市民アンケートの不満足度	%	-	-	33.22	H22	モニタリング			指標3では市民アンケートにおいて「満足」「やや満足」と答えた人の割合を対象に計測したが、逆に「不満」「やや不満」と答えた人の割合を計測したところ、従前値より減少していることから、住みよい地域が形成されたこと(目標)を表している指標としてふさわしいと考えられる。	指標3を補完して、住みよい地域の形成を説明する
							事後評価	確定 ●	見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・子育てサークルや高齢者の生きがい活動に関するサークルが新たに立ち上がり、日々の活動を通じて地域のソーシャルキャピタルの向上が見込まれる。
 ・葛巻地区以外の市内や市外のサークル・団体の施設利用が新たに発生し、さらに近年は増加しており、葛巻地区の地域外へのPR効果を発揮。(※平成26年6月2日、天皇皇后様行幸啓の屋敷会場としても利用があり、マスコミなどにより広く葛巻地区のPRにつながった。)

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
地域交流センター整備事業	予定どおり実施した	● (実施頻度)4回 (実施時期)H22.11.4～H23.2.23 (実施結果)「葛巻地区民ワークショップ」を開催。地域住民代表として葛巻地区まちづくり協議会から22名、小中学校から2名による。	地域住民等の意見を反映させたセンターの整備は完了。今後は、地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動(ソフト事業)に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
健康づくり・トレーニング室整備事業	予定どおり実施した	● 同上	同上
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
花街道整備事業	予定どおり実施した	● (実施頻度)年4～5回 (実施時期)H23～H26 (実施結果)地域コミュニティ組織が地区内に発行するかわら版での情報発信、並びに、地域のクリーン作戦の参加者に併せて植栽等を依頼。また、市から地域コミュニティ組織への補助金を交付することにより、住民主体の事業実施を支援した。	地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
レンタサイクル整備事業	予定どおり実施した	● (実施頻度)年2～3回 (実施時期)H25～H26 (実施結果)葛巻地区まちづくり協議会が地区内に発行するかわら版、並びに、本事業で作成した地域情報誌の地域内全戸への配布による情報発信。また、市から地域コミュニティ組織への補助金を交付することにより、住民主体の事業実施を支援した。	地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
くずまきカフェ助成事業	予定どおり実施した	● (実施頻度)年10回程度 (実施時期)H24～H26 (実施結果)葛巻地区まちづくり協議会が地区内に発行するかわら版での参加募集並びに参加者による口コミ。また、市から地域コミュニティ組織への補助金を交付することにより、住民主体の事業実施を支援した。	地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
地域交流センター整備事業	予定どおり実施した	● 地域コミュニティ組織及び地区内の小中学校によるワークショップ	葛巻地区まちづくり協議会 (地域の課題解決や活性化に向けた取り組みを行う地区内26町内の地域住民による地縁組織。) 葛巻小学校、西中学校	地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
健康づくり・トレーニング室整備事業	予定どおり実施した	● 地域コミュニティ組織及び地区内の小中学校によるワークショップ	葛巻地区まちづくり協議会 (地域の課題解決や活性化に向けた取り組みを行う地区内26町内の地域住民による地縁組織。) 葛巻小学校、西中学校	地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
花街道整備事業	予定どおり実施した	● 地域コミュニティ組織の環境部会並びに地域住民のボランティアで活動	葛巻地区まちづくり協議会 (地域の課題解決や活性化に向けた取り組みを行う地区内26町内の地域住民による地縁組織。)	地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
レンタサイクル整備事業	予定どおり実施した	● 地域コミュニティ組織の役員・委員で構成する実行委員会を組織	葛巻地区まちづくり協議会 (地域の課題解決や活性化に向けた取り組みを行う地区内26町内の地域住民による地縁組織。)	地域住民によるコミュニティ組織の主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
くずまきカフェ助成事業	予定どおり実施した	● 地域コミュニティ組織、参加者同士による親子サークルの結成	葛巻地区まちづくり協議会(同上) 親子サークルのびのび (事業参加者による子育てに関する意見・情報交換を目的とした住民組織)	地域住民によるコミュニティ組織並びに親子サークルの主体的な活動に任せ、市は後方支援とする。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価検討委員会	市役所関係各課課長補佐級職員(企画調整課、まちづくり課、建設課)及び葛巻地区地域交流センター長	平成27年12月21日	建設課都市計画係(交付金主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3	
指標名		地域交流センターの利用者数	地域コミュニティ活動参加者数(コミュニティ役員・委員)	市民アンケートの満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(市野坪18号線)	○	道路事業により地域交流センターへのアクセス性が向上した。地域交流センター整備事業、健康づくり・トレーニング室整備事業、花街道整備事業やレンタサイクル整備事業によりセンターに行きたくなる環境が形成された。くずまきカフェ助成事業によりセンターでのコミュニティ活動の機会が増えた。これらにより、施設利用者数の増加に大きな効果があった。	○	目標に関連する5項目の平均値は従前値(H22)より下がったものの、地域交流センター整備事業、花街道整備事業、くずまきカフェ助成事業が相乗効果を発揮したことで、地域交流が活性化し「地域コミュニティなどの地域交流」の満足度が上がった。また、市野坪街区公園整備事業により「公園や緑地、広場などの整備状況」の満足度が上がった。また、近年の傾向(H16・H18・H20のアンケート)と比較すると、評価値は上がっていることから、地域の活性化や住みよい地域の形成に一定の効果があった。
	道路(加坪川交差点)	○		○	
	公園(市野坪街区公園)	-		-	
	高次都市施設(地域交流センター)	◎		○	
提案事業	地域創造支援事業(健康づくり・トレーニング室整備事業)	◎	-	△	
	まちづくり活動推進事業(花街道整備事業)	○	◎	◎	
	まちづくり活動推進事業(レンタサイクル整備事業)	○	◎	△	
	まちづくり活動推進事業(くずまきカフェ助成事業)	◎	◎	◎	
関連事業	自転車レーン(活力創出基盤整備)	○	○	-	

※指標改善への貢献度

◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。

○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。

△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。

-：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標1	指標2	指標3
	道路上に案内標識を設置し施設への誘導を図るほか、コミュニティワゴンを活用した送迎手段を構築するなどにより利用者の増加を図る。	コミュニティ役員・委員の参加人数を維持するための仕組みづくり、支援を行う。	「生涯学習環境の充実」、「文化施設の整備状況や事業の展開」、「市民と行政の協働によるまちづくりの推進」の3項目の満足度が、従前値から下がっているため、地域交流センターにおける生涯学習環境の向上や各種事業の展開を強化する。また、地域と行政の協働を推進する。

指標の種別		その他指標1		その他指標2			
指標名		地域コミュニティ活動参加者数(地域住民等)		市民アンケートの不満足			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(市野坪18号線)	○	道路事業により地域交流センターへのアクセス性が向上した。また地域交流センター整備事業により、地域コミュニティ活動の拠点が整備された。その他、花街道整備事業やレンタサイクル整備事業によりセンターに行きたくなる環境が形成された。さらに、花街道事業、くずまきカフェ助成事業が、コミュニティ活動の機会の増加に貢献した。これらにより地域コミュニティ活動が活性化し、参加者数の増加に寄与した。	-	市野坪街区公園整備事業により、「公園や緑地、広場などの整備状況」に対する不満足度が下がった。また、地域交流センター整備事業、健康づくり・トレーニング室整備事業や花街道整備事業及びくずまきカフェ助成事業により、「生涯学習環境の充実」や「地域コミュニティなどの地域交流」に対する不満足度が下がった。これらにより、5項目の平均値の不満足度が下がり、地域の活性化や住みよさに対する消極的評価が少なくなった。		
	道路(加坪川交差点)	○		-			
	公園(市野坪街区公園)	-		◎			
	高次都市施設(地域交流センター)	○		◎			
提案事業	地域創造支援事業(健康づくり・トレーニング室整備事業)	-		◎			
	まちづくり活動推進事業(花街道整備事業)	◎	◎				
	まちづくり活動推進事業(レンタサイクル整備事業)	○	△				
	まちづくり活動推進事業(くずまきカフェ助成事業)	◎	◎				
関連事業	自転車レーン(活力創出基盤整備)	○		-			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	地域コミュニティ活動の継続、更なる活性化を図るため、交流促進の支援を行う。	公園や花街道の適切な維持管理を通じて、地域コミュニティの活性化及び住みよい地域形成のため支援を行う。	
-------	---------------------------------------	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価検討委員会	市役所関係各課課長補佐級職員(企画調整課、まちづくり課、建設課)及び葛巻地区地域交流センター長	平成27年12月21日	建設課都市計画課係(交付金主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
地域の結びつきの弱体化による地域コミュニティの衰退	地域コミュニティの拠点が形成されると共に、地域交流センターにアクセスしやすい環境、行きたくなる環境が整備されたことで地域交流センターの利用が促進された。これに加え、コミュニティ活動の機会増加や交流の場の増加を通じて交流が促進され、地域コミュニティが活性化した。	・地域と行政の協働の推進	・公園、花街道の適切な維持管理

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	地域交流センターへの誘導	誰もが、どのような手段でも訪れやすい、訪れたい仕組みをつくる。	・誘導看板の設置 ・コミュニティワゴンによる送迎手段の構築 ・施設利用を促す効果的な情報発信 ・居心地の良い施設利用方法の検討・実施
	コミュニティ活動に参加する役員・委員参加者数の維持	地域住民のニーズや地域課題を的確に把握し、それを事業化する仕組みづくりを進め、役員・委員が積極的にコミュニティ活動を推進していく。	・コミュニティの部会長会議や部会での話し合い
	更なる交流の促進	小学校と隣接している、運動設備がある等、施設の特徴を活かした事業・講座等を実施する。	・学校行事とコミュニティ事業の連携や合同開催 ・運動系講座の実施、市の健康運動教室との連携

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	地域と行政の協働の推進	市の提案する協働事業の積極的な共催により、全市民的な課題解決に向けた広い視野での事業展開を進める。	・ウォーキングイベント、介護予防教室、食育講座、放課後の居場所づくり、防災訓練等
公園、花街道の適切な維持管理	地域ぐるみの維持管理に対して支援を行い、地域への愛着を醸成する。	・地域住民による公園、花街道の維持管理活動の支援	

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

役員・委員は単純に参加者数を増やすのではなく、若い人などこれまで役員・委員経験のない人が参加する仕組みづくりなどにより、役員・委員のなり手の循環も必要。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	地域交流センターの利用者数	人/年	6,539	H21	7,000	H26	確定 ●	18,824	○	あり				
							見込み			なし				
指標2	地域コミュニティ活動参加者数(コミュニティ役員・委員)	人/年	1,334	H21	2,000	H26	確定 ●	2,009	○	あり				
							見込み			なし				
指標3	市民アンケートの満足度	%	63.39	H22	64.39	H26	確定 ●	61.56	△	あり ●	H29.6月末	平成28年度に市が実施したまちづくり市民アンケートの内、アンケートの対象地域として葛巻地区に分類される回答を抽出し、その中で目標に関連する5項目の「満足」「やや満足」と回答した割合の平均値。目標に関連する項目は「生涯学習環境の充実」「文化施設の整備状況や事業の展開」「市民と行政の協働によるまちづくりの推進」「地域コミュニティなどの地域交流」「公園や緑地、広場などの整備状況」とする。		
							見込み			なし				
その他の数値指標1	地域コミュニティ活動参加者数(地域住民等)	人/年	3,145	H21			確定 ●	5,932						
							見込み							
その他の数値指標2	市民アンケートの不満足度	%	33.22	H22			確定 ●	29.78						
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		目標の達成状況を評価するのにふさわしい指標の設定に努める。
	うまく いかなかった点	コミュニティ役員・委員の活動参加者数を指標としたが、コミュニティ活動の原動力となる地域住民の参加者数を指標とした方が適当ではなかったか考える。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	ワークショップの開催や、かわら版等の発行による情報発信を行うことで地域住民の事業への参加を促すことができた。	交流促進と地域コミュニティの活性化には住民参加が不可欠であるため、今後も効果的な情報発信を継続し住民参加を促す。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	評価について、事業担当、庁内検討委員会、外部評価委員会の3段階で評価を加えることにより、より客観性が持たれ、今後のまちづくりにつなげることができた。	今後も継続する。
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

平成28年度に計画期間を終える、第2期見附地区都市再生整備計画及び見附駅周辺地区都市再生整備計画について事後評価を予定している。見附駅周辺地区都市再生整備計画を実施するなかで判明した課題を解決するため第2期見附駅周辺地区都市再生整備計画の策定を企図している。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	H28.1.12～H28.1.26	H28.1.12～H28.1.26	メール、窓口備え付けの用紙	建設課都市計画係
広報掲載・回覧・個別配布	市広報にホームページで原案を公表している旨を掲載	H27.12.25発行 広報見附1月号	H28.1.12～H28.1.26		
説明会・ワークショップ					
その他	窓口にて原案を縦覧	H28.1.12～H28.1.26	H28.1.12～H28.1.26		

住民の意見	意見はありませんでした。				
-------	--------------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	澤田雅浩 長岡造形大学 建築・環境デザイン学科准教授	第1回 平成28年2月1日 第2回 平成28年2月10日	建設課都市計画係(交付金主管課)	都市再生整備計画評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	葛巻地区まちづくり協議会会長 見附市公民館運営審議会委員長 見附市市民活動・ボランティア連絡協議会会長				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・成果の評価が適正に実施されたことが確認された。
	実施過程の評価	・実施過程の評価が適正に実施されたことが確認された。
	効果発現要因の整理	・事業を実施しても効果を実感するまで時間がかかるものがあることを踏まえて、指標改善への貢献度を整理する必要がある。
	事後評価原案の公表の妥当性	・ホームページだけでなく窓口で公表していることに加え、広報紙で公表していることを周知しておりよいことだと思う。
	その他	・特になし。
今後のまちづくりについて審議	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続き等は妥当であると認められた。
	今後のまちづくり方策の作成	・施設の環境を上手に使い、利用した時に楽しんでもらうことが、地域交流センターの誘導につながる ・子どもと祖父母が一緒に参加できる仕掛けづくりをすることにより更なる交流が促進される。 ・防災という観点が足りないと思う。
	フォローアップ	・フォローアップ計画に基づき適正に実施することを確認した。
	その他	・特になし。
その他	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他		・計画の各種事業をパッケージで考えて、計画全体として事業を実施したことによりどのような効果があるのかということを考えて指標を設定した方がよい。 ・行政による基盤の整備が済んだ後は地元任せではなく、行政も適切に関わる必要がある。 ・地域住民への情報発信は重要であり、インターネットや市の広報だけでは見る人が限られるので、コミュニティ情報誌による効果的な情報発信が必要である。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画

くずまき
葛巻地区

にいがたけん みつけし
新潟県 見附市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●地域活動拠点の形成による交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の地区公民館は老朽化が進み、市民活動等を満足させる施設として十分とは言えない状態であり、また地域活動及び交流の拠点として整備するためには敷地も狭いため、近接する葛巻小学校敷地内に新たな地域交流センターを設置する。地域交流の場としての機能の他に、喫茶コーナーや健康づくりトレーニング室を設けると共に、小学校の隣に設置し共用通路を整備することで、小学校の設備も利用できる環境を作り出し、対応できる生涯学習、社会教育の幅を広げ、拠点性を高める整備を行う。 新規住宅団地に緑のあるいきいこの場として市野坪街区公園を整備し、地域住民同士の交流を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高次都市施設(地域交流センター:葛巻地区ふるさとセンター) 提案事業(健康づくり・トレーニング室整備事業) 公園(市野坪街区公園整備)
<p>●交流しやすい環境の整備による交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路を整備し、地域交流センターへのアクセスを良くすることで、施設利用者の増加を促し、地域交流の促進を図る。 見附市では、市外から訪れた人が市内を回遊できる仕掛けづくりとして、サイクリングロードの整備やレンタサイクル事業に取り組んでおり、葛巻地域においても、地域交流センターにレンタサイクルステーションとして貸出用自転車を整備する。あわせて、地域内の自然景観、史跡、文化財等の地域の宝物を繋ぐガイドマップ及びサイクリングコースを作成し、地域内を周遊する仕掛けづくりを行い、地域交流センターの利用増加と地域交流の促進を図る。 地域交通対策の一環として、環境負荷低減及び健康づくりに効果が高い自転車利用の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路(市野坪18号線道路改良工事、加坪川交差点改良工事) 提案事業(レンタサイクル事業)
<p>●まちづくり活動の実施による地域コミュニティ活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 市野坪街区公園整備のほか、まちづくり活動として花街道の整備を行うことで、葛巻地区の景観向上と誘導を図り、来訪者の増加と地域コミュニティ活動の活性化を図る。 カフェ(地域コミュニティ活動の取り組みの総称)の立ち上げを助成し、地域コミュニティ活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園(市野坪街区公園整備) 提案事業(花街道整備事業) 提案事業(くずまきカフェ助成事業)

その他

○地域コミュニティの組織

葛巻地区は平成19年3月11日にまちづくり協議会設立総会が開催され、見附市初の地域コミュニティ組織となった。

